

# 2026年度 Gマーク申請

評価項目「Ⅲ. 安全性に対する取組の積極性」

## 雛形・記載例・作成例

この資料は、東京都トラック協会のホームページの会員専用ページに掲載予定です。

<掲載予定ページの場所>

[ 東京都トラック協会ホームページのトップページ ] ⇒

[ 協会の取り組み ] ⇒ [ サービスの向上 ] ⇒ [ 適正化事業 ] ⇒

[ Gマーク認定に向けて ]



# 目 次

## グループ① 運転者等の指導・教育

1 - (1)	『自社内独自の運転者研修等』の実施	
	▣ 社内研修実施記録簿（書式・記載例）	1～2
1 - (2)	『外部の研修機関・研修会への運転者等の派遣』	
	▣ 外部研修実施記録（書式）	3
1 - (3)	「運転記録証明による事故・違反実態の把握に基づく指導」	
	▣ 指導一覧	4
1 - (4)	『安全運行につながる省エネ運転の実施と個別指導』	
	▣ 省エネ運転指導実施記録	5
	▣ 燃費統計表	6

## グループ② 輸送の安全に関する会議・QC活動の実施

2 - (1)	『事業所内での安全対策会議』の定期的な実施	
	▣ 安全対策会議議事録（書式・記載例）	7～8
	▣ グループKYT訓練記録簿（作成例）	9～11
2 - (2)	『事業所内での安全に関するQC活動』の定期的な実施	
	▣ QC活動報告書	12～13
2 - (3)	『荷主企業、協力会社等との安全対策会議』の定期的な実施	
	▣ 荷主・協力会社等事故防止会議議事録（書式・記載例）	14～15
2 - (4)	『事故防止や輸送の安全に対する意識の向上に向けた取組』の実施	
	▣ 回覧表（書式・記載例）	16～17

## グループ③ 法定基準を上回る対策の実施

3 - (2)	『効果の高い健康起因事故防止対策』の実施	
	▣ SASの検査者名簿	18
3 - (3)	『車両の安全性を向上させる装置の装着』	
	▣ バックアイカメラ設置 証明資料	19～20

## グループ④ その他の取組み

4 - (1)	『健康起因事故防止に向けた取組』の実施	
	▣ 健康ミーティング議事概要（雛形）	21
	▣ 健康管理表	22

# 研 修 実 施 記 録

会 社 名		営 業 所 名	
実 施 年 月 日		実 施 時 間	
実 施 者 名		実 施 場 所	

教 育 資 料 名	
-----------	--

出 席 者 名			

フ ォ ロ ー ア ッ プ			
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

# 研 修 実 施 記 録

会 社 名	東ト協運輸 株式会社	営 業 所 名	本社営業所
実施年月日	○×年 ×月 △日 月曜日	実施時間	〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇
実施者名	東京 太郎	実施場所	会議室

## 車両点検についての研修会

1. 日々実施している日常点検について、項目別に運転手の理解度を深める。
2. タイヤの構造についての研修  
  
※座学講習後、〇〇号車を使用して点検研修を実施。
3. 定期点検について点検項目から、運転時注意すべき点・車の構造について理解を深める。
4. 車両管理者からの注意事項

教育資料名      全日本トラック協会テキスト 「点検整備」

### 出 席 者 名

〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		

### フォローアップ

〇〇 〇〇			
〇〇〇〇年〇月〇日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
〇〇 〇〇			
〇〇〇〇年〇月〇日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

# 研 修 実 施 記 録

研 修 名	
開 催 年 月 日	
開 催 場 所	
主 催 者 名	
受 講 者 氏 名	
研 修 内 容	



# 省工ネ運転指導実施記録

事業者名	
営業所名	

運転者名	
運行年月日	年      月      日
車両番号	

運行記録計貼付欄

指導年月日	年      月      日
指導者名	
指導内容	



# 安 全 対 策 会 議

会 社 名		営 業 所 名	
開 催 年 月 日	年 月 日	開 催 時 間	: ~ :
議 長 (進 行 役)		開 催 場 所	

議題内容

議事概要 (発言内容)

結論 (今後の対策)

会 議 資 料			
出 席 者	出 席 者	出 席 者	出 席 者

# 安全対策会議

記載例

会社名	〇〇運送(株)	営業所名	〇〇営業所
開催年月日	年 月 日	開催時間	〇〇:〇〇~△△:△△
議長(進行役)	□□ 班長	開催場所	会議室

## 議題内容

1. 右左折時における交通事故の防止について

2. 自転車との衝突防止について

## 議事概要(発言内容)

- 右左折時における事故の防止について、様々な事故事例を参考にして全員で話し合った。交差点内における信号無視による衝突や右折時の左側からの車両への対応策を話し合った。
  - 交差点の信号機の状態を早めに確認し、黄色信号が点滅したら停止するなどゆとり運転を心がける。
- 自転車との衝突事故防止について、事故事例を参考に話し合った。
  - 優先道路を走行する場合であっても、細い交差点道路等からの飛び出しがあるため、進行方向の交通状況を常に確認しながら運転することが必要。

## 結論(今後の対策)

- 交差点内で右折するときは対向車の動向をよく確認し、ゆとりをもって行動する。
- 自転車は車両が止まるであろうと考えて走行してくる場合があるので、交差点は徐行して走行する等の余裕を持った運転を心がける。

会議資料	・右左折における事故事例(別添資料)・自転車との衝突事故事例(別添資料) ※議事録の他に使用した資料も添付する		
出席者	出席者	出席者	出席者
東京 太郎	新宿 二郎		
四谷 一郎	東ト 三郎		
丸正 四郎	山田 太郎		

【作成例①】

株式会社〇〇運送 本社営業所 第1回 〇〇〇〇年度 KYT訓練

実施：〇〇〇〇年8月27日 16:00～17:00 実施場所：本社休憩室

進行：足立部長 書記：葛飾

出席者：江戸川 墨田 荒川 目黒 板橋

資料：【トラック1】交差点の右折

交通場面の状況等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号機のある交差点を右折しようとしている。</li> <li>・対向車が接近している。</li> <li>・右折先の道路に駐車車両があり、歩行者の影が見える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限速度：時速60キロ</li> <li>・路面：乾燥</li> <li>・天候：晴</li> <li>・積載状況：4トン車</li> <li>・運転者：年齢48歳</li> <li>・運転経歴：17年</li> </ul>



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
<p>△△：対向車が交差点に接近しており、このまま右折していくと衝突する危険がある。</p> <p>□□：横断歩道の右側から自転車が渡ろうとしており、このまま右折して行くと衝突する危険がある。</p> <p>××：右折していく道路の先に駐車車両の影に歩行者が見えるが、この歩行者が横断してくるとはねる危険がある。</p>	<p>△□：対向車が接近しているときは、右折をせずに、対向車の通過を待ち、安全が確認されてから右折する。</p> <p>×○：右折していくときは、横断歩道の状況だけでなく横断歩道の先の情報にも注意しながら、いつでも停止できる速度で進行する。</p>

総評（まとめ）〇〇部長

- ・対向車があるときは無理をせず対向車の通過を待つ。
- ・横断歩道の状況を確認する。特に横断歩道の右側からわたってくる自転車や歩行者は、見落としやすいので意識して確認をする
- ・右折していくときは、いつでも停止できる速度で進行する。

【作成例②】

株式会社〇〇運送 本社営業所 第2回 〇〇〇〇年度 KYT訓練

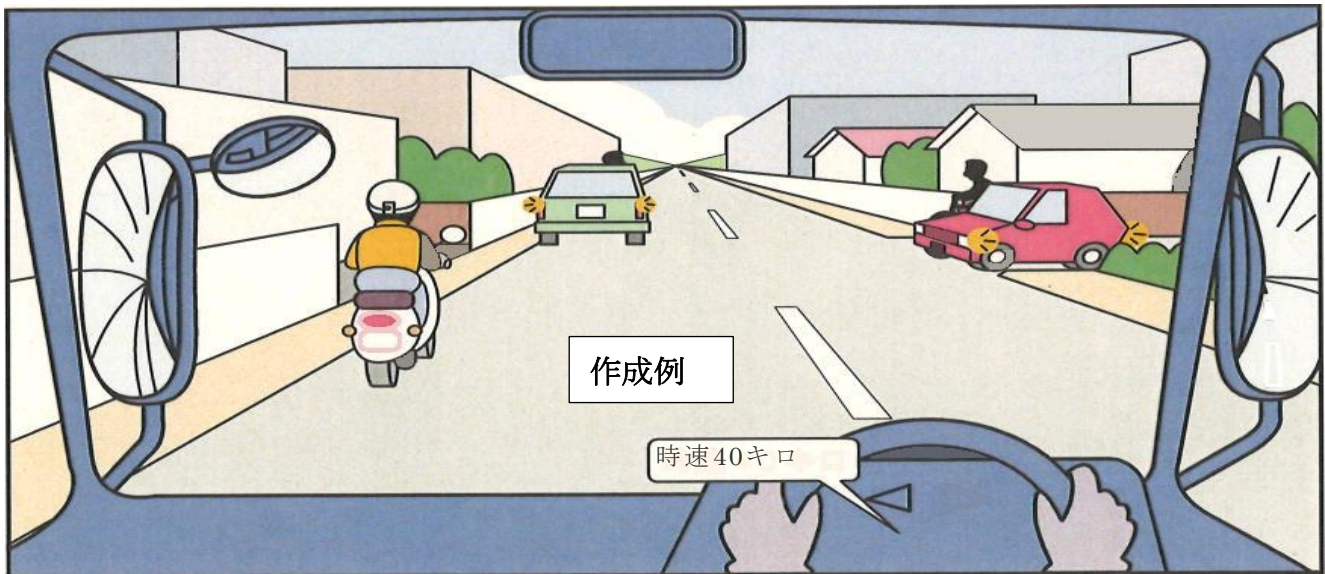
実施：〇〇〇〇年11月18日 16:00～17:00 実施場所：本社休憩室

進行：足立部長 書記：葛飾

出席者：江戸川 墨田 荒川 目黒 板橋

資料：【トラック3】住宅街の道路を走行

交通場面の状況等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅街の道路を走行している。</li> <li>前方左側を二輪車が走行している。</li> <li>右側の脇道から車や自転車が出ようとしている。</li> <li>駐車車両の向こうに人影が見える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制限速度：時速40キロ</li> <li>路面：乾燥</li> <li>天候：晴</li> <li>積載状況：2トン車</li> <li>運転者：年齢33歳</li> <li>運転経歴：8年</li> </ul>



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
<p>△△：駐車車両に進路を塞がれた二輪車が右に進路を変更してくることが予測されるので、そのまま直進すると二輪車と衝突する危険がある</p> <p>□□：二輪車を追い越そうとすると、前方右側の側道から出ようとしている車と衝突する危険がある。</p> <p>××：前方の右側の自転車が出てくると衝突する危険がある。又、駐車車両の向こうの歩行者が道路を横断してくると、はねる危険がある。</p>	<p>△□：駐車車両などで進路を塞がれた二輪車は、後方の確認をせずに進路を変更することがよくあるので、追い越さずに先に生かせるようにする。</p> <p>×○：脇道から車と自転車が出ようとしており、駐車車両の向こうには歩行者も見えるので、スピードを落として走行するとともに、脇道の車は先に行かせる。</p>

総評（まとめ） 〇〇部長

- あらかじめスピードを落として運行する。
- 自転車やバイクの動きには十分注意する。
- 駐車車両があるときは、その付近の歩行者の動きに注意する。
- 脇道から出てくる車や、自転車は、先に行かせる。

株式会社〇〇運送 本社営業所 第3回 〇〇〇〇年度 KYT訓練  
 実施：〇〇〇〇年2月3日 16:00～17:00 実施場所：本社休憩室  
 進行：足立部長 書記：葛飾  
 出席者：江戸川 墨田 荒川 目黒 板橋  
 資料：〇月〇日 〇〇号車 ドライブレコーダー映像

交通場面の状況等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路や通行中の車、自転車などできるだけ詳しく状況を記載する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自車の状況を詳しく記載する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・走行速度</li> <li>・積載状況</li> <li>・天候、路面の状態</li> <li>・運転者の年齢、運転経験等</li> </ul> </li> </ul>



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
△△：発言内容を記載する  □□：・・・・・・・・・・・・・・・・  ××：・・・・・・・・・・・・・・・・	△□：発言内容を記載する  ×○：後でまとめやすいよう要旨を記載する

総評（まとめ）〇〇部長

- ・注意点をまとめて記載する。
- ・
- ・

# QC活動 報告書

事業者名	
営業所名	
実施年月日	
実施場所	

グループ名：

メンバー：

テーマ：

1. テーマの策定

2. 現状の把握

3. 改善方法

4. 改善に向けた目標

5. 活動計画

# QC活動 報告書

事業者名	
営業所名	
実施年月日	
実施場所	

グループ名：

メンバー：

テーマ：

6. 活動の実施報告

7. 活動の効果

8. 問題点・課題

9. まとめ



## 【荷主・協力会社等】事故防止安全対策会議

開催年月日	令和7年8月20日
開催場所	株式会社●● 本社
実施時間	14:00～15:00
進行役	東京 太郎

## 議題

- ・他社の活用しているヒヤリ・ハット情報からの事故防止について
- ・ヒヤリ・ハット報告の集計・相互の共有方法について
- ・ヒヤリ・ハット活用の進め方について

## 発言内容

- ・ヒヤリ・ハットについては、集計方法、今後への活用方法が確立されていなければ事故防止に役立てることができないので、集計方法から理解する必要がある。ヒヤリ・ハット情報から、独自のKYTシートを作成しドライバーに実施させることは、理解を深める手法の一つではないか。
- ・各社で情報を共有することで、さらなる事故防止につながるのではないか。

## 結論（決定事項）

- ・ヒヤリ・ハット報告書の統計を集計し、事例を使用しドライバーに理解させる。
- ・独自のKYTシート等を作成し、指導方法を画一的なものとする。
- ・安全対策会議にて全運転者に実施させるように発表する。
- ・今後の事故防止会議にて、各社で共有できるように情報交換に努める。

## 出席者

会社名	営業所名	氏名
A株式会社	本社営業所	四谷 一郎
B株式会社	東京営業所	東京 太郎
有限会社 東トラ運送	新宿営業所	新宿 二郎

相手先の名称は仮名でも可。

自営業所の参加者にカラーマーカーで色付けしてください。

## 回 覧 表

回 覧 表					
回覧年月日		年 月 日			
件名					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					
確 認 年 月 日					
サ イ ン					

## 回 覧 表

回 覧 表					
回覧年月日		2025年9月5日			
件名		●●●セミナー（2025年9月1日）			
確認 年月日	R7.9.5	R7.9.6	R7.9.6		
サイン	田中	鈴木	佐藤		
確認 年月日		選任運転者名にカラーマーカーで色付けして ください。			
サイン					
確認 年月日					
サイン					
確認 年月日					
サイン					
確認 年月日					
サイン					
確認 年月日					
サイン					
確認 年月日					
サイン					
確認 年月日					
サイン					



証明資料 (バック・アイカメラの場合)



添付する資料

1. 設置車両の写真、カメラ部分のアップ写真 (当該資料)
2. 設置車両の車検証の写し
3. 機能のわかる説明書等の写し (取扱説明書等)

A

記録年月日 令和 年 月 日

## 自動車検査証記録事項

1. 基本情報									
自動車登録番号又は車両番号									
車台番号									
登録年月日/交付年月日 令和 年 月 日			初度登録年月 令和 年 月		有効期間の満了する日 令和 年 月 日				
2. 所有者・使用者情報									
所有者の氏名又は名称					東京トラック協会運送株式会社				
所有者の住所					東京都新宿区四谷3丁目1番8号 [〇〇〇〇〇]				
使用者の氏名又は名称					***				
使用者の住所					***				
使用の本拠の位置					***				
3. 車両詳細情報									
車名 〇〇									
型式 〇〇—××			原動機の型式 〇〇						
自動車の種類 普通		用途 貨物		自家用・事業用の別					
車体の形状 箱型		[001]		乗車定員 4人		最大積載量		-kg	
車両重量 1730kg		車両総重量 1950kg		長さ 465mm		幅 189cm		高さ 137cm	
前軸重 940kg		前後軸重 -kg		後前軸重 -kg		後後軸重 790kg		総排気量又は定格出力 3.79 L <sup>kw</sup>	
燃料の種類 ガソリン				型式指定番号 〇〇		類別区分番号 〇			
4. 備考									
<p>[ ], 新規登録  自動車重量税額 ¥49,200  [31年度税制] 令和3年5月10日 新規登録  令和2年度燃費基準40%向上達成車  平成27年度燃費基準20%向上達成車  平成22年度燃費基準2.5%向上達成車  車両安定性制御装置搭載車  車線逸脱警報装置搭載車  [走行距離計表示値] 19,000km (令和〇年5月1日)  [旧走行距離計表示値] 9,000km (令和〇年5月1日)  ハイブリッド車  平成10年騒音規制車, 近接排気騒音規制値 96db  マフラー加速騒音規制適用車  [整備工場コード] 〇-〇〇〇  番号標再交付  以下余白</p>									

## 【注意事項】

記録事項はシステム登録時点の情報となります



車両ID

1 ※令和5年1月以降に車検証が交付された車両は電子車検証ではなく、添付みほんの様式の自動車検査証記録事項を添付してください。







